

仏教学研究科 指導計画

1.研究科概要	大学院仏教学研究科では、建学の根幹である仏教精神に則り、仏教に対する高度に専門的な知識を修得するとともに、仏教にかかわる関連分野についても広く関心を有する人材の育成を目指しています。仏教学が永く培ってきた深い知見を基盤としながら、現代社会の直面する諸課題に対していかに応答するのかという問題意識を常に大切にしながら教育・研究が行われます。	
2.取得可能学位	修士（仏教学） Master of Buddhist Studies 博士（仏教学） Doctor of Buddhist Studies	
3-1：指導計画（修士課程）		
	審査種別：	修士論文
1年次	4月（入学）	学生の入学時の志望を基本とし、年次の初めに指導教員を決定する。
	4月中旬 ～5月上旬	指導教員・題目届の提出（MUSCAT 通知） 学生→指導教員へ提出
	9月	修士論文 中間発表会へ出席
	11月～2月中旬	修士論文の作成に資するレポート作成方法などの指導
	～2月下旬	修士論文公聴会への出席
	3月	指導教員のもとで個別研究指導
2年次	4月～	<ul style="list-style-type: none"> ・「修士論文演習」による研究指導（通年） ・修士論文の執筆・個別指導（通年）
	4月中旬 ～5月上旬	指導教員・題目届の提出（MUSCAT 通知） 学生→指導教員へ提出
	7月	修士論文 中間発表会
	11月	様式、論文審査願の確認（MUSCAT 通知） 主査・副査の決定（研究科委員会）
	1月上旬	修士論文の提出
	1月下旬～	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文の審査 ・最終試験（口頭試問・公聴会）
	3月	修了判定（研究科委員会）
	3月（修了式）	学位記交付

3-2 : 指導計画 (博士後期課程)

審査種別 :		博士論文
1,2 年次	4 月 (入学)	指導教員の確認 (原則、希望する指導教員への出願前の連絡をもとに、面接の上、指導教員を決定)。以後、指導教員による研究計画書に対する指導を行う
	4 月中旬 ~5 月上旬	指導教員・研究課題及び研究計画書の提出 (MUSCAT 通知) 学生→指導教員へ提出
	9 月	中間発表 (仏教文化研究所 研究例会での発表に代えることもある)
	9 月~2 月	博士論文の作成に資するレポート作成方法などの指導
	~2 月下旬	博士論文公聴会への出席
3 年次	4 月中旬 ~5 月上旬	博士論文提出予定の届出 (MUSCAT 通知)
	8 月	・博士論文提出案内 ・様式・提出日時等 (MUSCAT 通知)
	10 月	・博士論文の提出 ・主査・副査の決定 (研究科委員会)
	12 月 ~2 月下旬	・博士論文の最終試験 ・公聴会
	3 月	修了判定 (研究科委員会)
	3 月 (修了式)	学位記交付